

◆
**三重工場が最高賞の
「日本コージェネレーションセンター会長賞」を受賞**

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）のタイヤ生産拠点である三重工場が「第6回日本コージェネレーションセンター賞」の産業用部門で、最高賞である会長賞を受賞した。同賞は最も優れたコージェネレーションシステム（CGS）の導入事例に対して贈られるもので、横浜ゴムが同センター賞を受賞するのは、昨年、三島工場のCGSがタイヤ業界で初めて環境保全奨励賞を受賞したのに続き2年連続。

三重工場は「ESCO事業方式」*によって2006年1月から都市ガスを使用するガスタービン発電機と追い炊き付き排ガスボイラーからなるCGSを2基稼働させている。重油から都市ガスへのエネルギー転換、CGS稼働の総合効率向上によってCO₂排出量削減などに大きな成果を上げている。

日本コージェネレーションセンター賞はCGSを専門に調査・研究、普及活動を行う日本コージェネレーションセンターが主催する表彰制度で2003年からスタートした。優れたCGS導入事例を表彰することで社会への啓発、普及促進を目的としている。同賞は運用開始後1年以上経過したCGSが対象で、最近1年間の運用データを主体に省エネルギー性、環境保全性、新規性を評価し民生用部門、産業用部門の2部門で表彰する。

横浜ゴムは、新中期経営計画「グランドデザイン100（GD100）」で宣言した「トップレベルの環境貢献企業になる」の下、地球温暖化対策を含む環境活動を最重要課題のひとつと位置づけ、グローバル規模での活動を進めている。地球温暖化対策では、国内の総温室効果ガス排出量を2010年までに基準年比12%以上削減することを目標としており、業界に先立ってタイヤ生産主力工場である平塚製造所、三島工場、三重工場、新城工場にクリーン燃料の高効率CGSを導入している。

*「ESCO事業方式」：ESCOとは「Energy Service Company」の略。企業や自治体などが、省エネルギーの提案、施設の維持・管理などの包括的サービスを行う事業会社を通じて省エネルギーを図る事業方式。



表彰状を手にする持永義登工場長（左端）と岡田久隆環境管理事務局長（右端）。中央は日本コージェネレーションセンターの平田賢会長（左）と石福昭副会長。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江 石塚
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IR グループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL: (03) 5400-4531 FAX: (03) 5400-4570